

7月は樹勢調査を二日に分けて実施したので、樹勢調査を今月の桜パトロールとさせて頂く。

<第1回> 7月4日(火)晴れ 8:00~10:30

朝から間違いなく猛暑日になる日差しの中、小金井橋右岸(南岸)から調査開始。今年は歩道が除草されていて気分が良い。上水柵内は雑草が元気よく繁っている。

若木(KS7~KS12)は順調に育っている。桜樹は年々それぞれに老化している。No.938が今年の7月の樹勢調査直後、8月末から9月初めにかけて枯死と判定され伐採、切株となった。

9:30 貫井橋北岸へ。北岸の小平市管理部分は毎年総じて整備されている。若木の補植がないので桜並木は歯が抜けたようになってきている。(特に海岸寺入口に面したところから御成りの松までが並木になっていない)上水の元気の良い雑草の中でノカンゾウの花がそれでも健気に咲いている。10:30、北岸小金井橋着。



柵内と緑道

柵内の若木

繁茂した下草の中のノカンゾウ

<第2回> 7月10日(月)晴れ 8:00~10:00

本日も早朝、茜屋橋右岸(南岸)より開始。若木(KS15)は補植後3年目に枯死の危機があったがこの2年復調著しく、ほぼ他の若木に追いついた。9:00 貫井橋折り返し。左岸でカブト虫のオスを見つける。10:00 茜屋橋にて終了。





感想

毎年第2ブロックの樹勢調査は他のブロックより時間がかかるのに今年は3名でやらねばならず、体力の衰えを考慮して数日間に分けて実行する事とした。結果的に一日目(7月4日)は小金井橋~貫井橋、二日目(7月10日)は貫井橋~茜屋橋を調査した。一日目は2時間半、二日目は2時間で終了。毎年の事ながらブロック員の方々にただただ感謝するのみ。

今年(2017年)特に感じたのは葉の食害が殆ど見られなかったことだ。時期がちょっと早かった為だろうか?ただ、食害は見られなかったが葉の小型化、萎れが感じられた。根元の腐朽も進んだようだ。コスカシバが例年より増え、ヒコバエも相変わらず多かった。第2ブロックに多く見られるコフキササルノコシカケが大部分削り取られて跡形のみ残っていた。ただ削られても菌は中に残っているので又生えるかも。コウヤクタケは例年枯枝に見られるものが殆どだったのに、今年は生きた枝にも所々見られて驚いた。樹が弱ってきているのだろうか。カワラタケが勢いよく生えている樹が何本か見られ残念だ。第2ブロックのソメイヨシノは右岸に1本、左岸に2本、計3本だがどの樹も瘤病が更に増えてきた。左岸のソメイ(No. 199)は樹も大きく、花も白くて美しいのでソメイではあるが長生きして欲しいと願っている。

数値の評価は昨年とほぼ似たようなものだが、今年の第2ブロックは枯死木1本であった。大枝が剪定された為評価が良くなったものもあるが、一般的には弱ってきている感が否めない。

柵内は下草の中から顔をのぞかせていたノカンゾウ、ヤブカンゾウの花がほぼ終わりに近づき、白いネバネバ状のものが茎にビッシリ付いていたのが残念だった。下草刈りを5月末か6月初めに一度して頂くとノカンゾウが一面に見られて美しいのではと感じた。ノカンゾウが咲き終わった頃に又全面的に刈って頂けると夏場助かるのでよろしく願いたい。

桜樹ナンバープレートの欠けたものが有り手製で補っているが、すべて官製で(平成30で統一した通し番号で)付けて頂きたい。行政と桜の会で合同パトロールをして障害雑木を確認し対応策を具体化する必要があるのではと思う。

